

平成24年9月13日

豊田PCB廃棄物処理施設 管理目標値を超えるおそれのあるベンゼンの排出について

平成24年9月13日（木）午前1時前、当社豊田PCB廃棄物処理施設の屋上の排気口付近において、巡回点検中の作業者が芳香臭（ベンゼンの嗅覚閾値：9.4 mg/m³）がするのを発見しました。

原因は、排出管理目標値（50 mg/m³）を超えるおそれのあるベンゼンを含んだ排気ガスが処理設備（活性炭吸着槽）を経由せず外部へ排出されていたためでした。

直ちに、排気ガスは処理施設を経由して排出するよう措置しました。その結果、屋上のガス排出口ではベンゼン濃度はND（検出せず）となりました。

今回の事象に伴う環境への影響については、簡易測定の結果、敷地境界におけるベンゼン濃度は不検出（検出下限値：0.696 mg/m³）でしたが、現在、24時間の大気採取による詳細な測定を実施中です。

なお、今回の事象によるPCBの排出はありません。

1. 発生状況

豊田事業所では、PCBの分解処理に伴って発生するベンゼンを含んだ排気ガスの処理設備として、活性炭吸着槽を設置しております。

平成24年9月13日（木）午前1時前、当社豊田PCB廃棄物処理施設の屋上の排気口付近において、巡回点検中の作業者が芳香臭（ベンゼンの嗅覚閾値：9.4 mg/m³）がするのを発見しました。

平成24年9月12日（水）に活性炭の交換を行ないました。交換後の運転再開作業において、誤って吸着槽のバイパス管のバルブを開けた（同日午後1時40分頃）ため、ベンゼンを含む排気ガスが活性炭を経由せずに外部に排出されたことがわかりました。

ベンゼン濃度は、バルブ閉鎖後直ちに活性炭吸着槽入口で測定したところ、約70 mg/m³でした。豊田市との協定における管理目標値が50 mg/m³です。このため、管理目標値を超える濃度のベンゼンが排出されていたおそれがあります。

9月13日（木）午前1時5分、バイパス管のバルブを閉めましたので、それ以後排気ガスは活性炭吸着槽を経由して排出しております。

今回の事象に伴う環境への影響については、簡易測定の結果、敷地境界におけるベンゼン濃度は不検出（検出下限値：0.696mg/m³）でしたが、現在、24時間の大気採取による詳細な測定を実施中です。

なお、今回の事象によるPCBの排出はありません。

2. 発生原因

バルブ操作を誤った原因について、現在調査中です。

3. 今後の対応

早急に原因を調査のうえ、また、第三者の専門家に対してさらに講ずるべき対策について意見を聞いた上で、対策を講じます。

<連絡先>

日本環境安全事業株式会社豊田事業所

所長 石垣喜代志（TEL 0565-25-3110）